



▲吉田千代勝一座（杉渕栄二座長）による猿倉人形芝。一人で2体の人形を同時に操る伝統芸です。



▲朗読ボランティア「やまびこ」の皆さんは「昔語り」を披露。民話を懐かしい響きの秋田弁で語りました。

県の生涯学習事業「あきた県民カレッジ特別公開講座」が1月27日(日)、市交流センターで開かれ、市民約100人が、「昔語り」や「猿倉人形芝」等の民俗芸能実演を楽しんだあと、人形の文化・歴史についての専門家による講演に耳を傾けました。

講座でははじめに、「昔語り」として朗読ボランティアやまびこの小林玲子さんが民話「花咲き山」、小坂和子さんが「すずめつこの話」を昔ながらの秋田弁の語り口で朗読しました。「猿倉人形芝」が披露されました。この日の演題は「大蛇退治」、「鬼神のお松」、「貫徹和尚の傘踊り」の3題で、ユーモアのある秋田弁のセリフ回しや、迫力ある大蛇との大立回り、鬼神のお松の七変化等、人形操法の特徴を活かした素早く、激しくそして曲芸的なやり取りが展開されました。受講者らは昔懐かしい人形絵巻に満場の拍手を贈っていました。

猿倉人形芝居は、明治時代に由利郡鳥海町（現由利本荘市）出身の池田与八（吉田若丸）が江戸時代から続く文楽などの人形芸を基礎に、独自の工夫を加えて創案した人形芝居です。かつては「秋田人形」あるいは「与八の出身地から「百宅人形」などとも呼ばれましたが、現在の名称は与八の弟子で活発な活動をおこなった真坂藤吉（吉田勝若）の出身地である猿倉に由来します。

明治から昭和初期には全国各地で興行しました。神社やお寺の祭典、農村では民家の座敷とどこでも行えるため、大衆娯楽として大変な人気を博したといえます。

藤吉には弟子がおり、吉田千代勝一座（北秋田市）、鈴木栄太郎一座（羽後町）、木内勇吉一座（由利本荘市）の3座は昭和49年に秋田県無形民俗文化財に指定され、現在も継承されています。

民俗芸能実演のあと、秋田県民俗学会事務局長の齋藤壽胤氏による「人形の民俗」形代から人形芝居まで」と題した講義が行われ、人々の暮らしや信仰などに密接に関わってきた人形の原点やその種類などについて学習しました。

昔語り 猿倉人形芝居 ◆地域に伝わる民俗文化を学び、楽しむ

県の生涯学習事業「あきた県民カレッジ特別公開講座」

本物の「マタギ」から学ぶ！
——こどもマタギ体験講座

「マタギの里」として知られる北秋田市。テレビでは見たことがあるけれど、よく知らない…そんな君たちへ。

狩人「マタギ」が教えてくれる冬の里山での活動を体験してみよう！熊牧場では、生まれたての子グマにも会えるよ。

期日 2月24日(日)
時間 午前10時30分～午後2時
対象 市内小学生20名(先着順)
場所 阿仁クマ牧場とその周辺
内容 マタギ体験

▽クマ牧場で冬眠中の熊を見学
▽「マタギ鍋」を食べてみよう
▽「かんじき」体験 ほか

※市のバスで、午前8時30分に中央公民館を出発し、途中停車しながら、現地向かいます。時間はお問い合わせください。

参加料 無料
持ち物 防寒着、おにぎりほか
◎問合せ
▽教育委員会生涯学習課（中央公民館2階） ☎62-6618

学びの広場

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ

地域で学び、活動する
皆さんを応援します

北秋田市
教育委員会

平成19年度鷹巣地区公民館まつりが1月20日(日)、市中央公民館で開かれ、公民館講座の受講や自主活動を行っている参加者が、講演会や活動の成果発表など多彩なプログラムで学習と交流を深めました。

参加者は、中央公民館のほか綴子、坊沢など地区公民館6館で活動している講座受講生、サークル活動の会員など約250人。

はじめに、「北秋田市は美食の街」と題し、県職員（北秋田地域振興局在職）で、地域の食の文化作り活動などに取り組まれている佐藤重任氏の講演に耳を傾けました。

佐藤氏は、一時フランス料理人を目指したユニークな経験などをもとに、「北秋田市には比内地鶏や山の芋をはじめ、セリ、ゴボウ、シシトウ、そばなど豊かな食材がたくさんある。これらを活用してまちづくりにつなげましょう」と参加者へ呼びかけました。

午後の演習部門は各公民館から計9団体から活動の成果を披露。坊沢ゴリエアロをトップバッターに、綴子舞踊サークル、中央公民館唱歌を歌う会、沢口舞踊講座、七日市健康体操とレクダンス、綴子公民

冬にも学びと交流の場を

阿仁公民館「冬期講座」

阿仁公民館では、家にこもりがちな冬でも公民館で気軽に学び、交流ができるようにと、1月から「冬期講座」を開催しています。

1月22日は、金新佐久氏を講師に迎え「なつかしの歌っこ」を開催し、「雪の降る町を」など懐かしい唱歌や童謡などをピアノ伴奏で、のびのびと歌いました。

腹の底から大声をだすことは、体にも良くストレス解消にもつながります。「上手に歌うことは二の次、楽しくウキウキ歌うことが一番！」と大好評でした。

講演と活動成果発表で交流

鷹巣地区公民館まつり



▲中央公民館ほか、鷹巣地区の6つの地区公民館の約250人の受講生らが参加し、多彩なプログラムで学習と交流を深めました



館唱歌を楽しむ講座、七日市新舞踊、栄健康体操講座、鳳は鷹巣消費者の会「ザ・ストップ悪徳商法」の寸劇で締めくくりました。

また、館内には押し花や洋裁・手芸などの講座生の作品も展示され、訪れた人たちは、心をこめて作られた作品の数々に見入っていました。



▲家にこもりがちな冬も、学ぶ心はホットに…「冬期講座」

この講座を皮切りに、3月まで編物・着付け・料理(巻き寿司)などの講座が予定されています。この冬も、受講生の学ぶ意欲は、厳しい寒さをも凌ぐ勢いのようです。